

GIII-Vol.133

高浜寛たかはまかんのマンガに登場するアイテムで読み解く19世紀末ベル・エポック

— 『ニュクスの角灯』、『蝶のみちゆき』…展

【開催概要】

展覧会名：GIII-Vol.133

「高浜寛たかはまかんのマンガに登場するアイテムで読み解く19世紀末ベル・エポック

— 『ニュクスの角灯』、『蝶のみちゆき』…展」

会 期：2020年2月22日（土）－4月26日（日）（56日間）

時 間：10:00－20:00 休 館 日：火曜日 観 覧 料：無料

会 場：熊本市現代美術館 G3・井手宣通記念ギャラリー

主 催：熊本市現代美術館 [熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団]

協 力：リード社、CG-ARTS、崇城大学芸術学部デザイン学科マンガ表現コース

協 賛：文化庁メディア芸術祭



高浜寛『ニュクスの角灯』1巻書影

©Kan Takahama

開 会 式：2月22日(土)10時より（1時間程度）

会 場：熊本市現代美術館 G3・井手宣通記念ギャラリー内、作家挨拶、内覧会あり

一 般 公 開：2月22日(土)11時から

内 容：天草出身・熊本在住のマンガ家 高浜寛の個展。

高浜寛は、第21回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を著作『ニュクスの角灯』（リード社）で受賞、作品のほとんどがフランス語に翻訳され、国内はもとより国際的にも高い評価を受けている気鋭のマンガ家です。

本展では、『ニュクスの角灯』『蝶のみちゆき』などから、貴重な原画とともに、作品に登場する高浜個人のアンティーク・コレクションを大公開。特に、『ニュクスの角灯』の舞台は19世紀末（ベル・エポック）のフランスであり、その時代考証に高浜が入念な現地取材・資料調査を行うなかで出会ったアンティークの数々は、作品にリアリティと華やぎを与える重要な「登場人物（キャラクター）」と考えられます。

高浜寛が、歴史マンガの中に「いま」を映す、その鋭い感性に触れる展覧会です。

【開催イベント】

■高浜寛 アーティストトーク+サイン会

日 時：2020年3月20日（金・祝）14：00-15：30 （トーク45分）

会 場：ホームギャラリー

サインは、作家の著書のみに行います。ちらし・色紙はご遠慮ください。

■高浜寛指導によるワークショップ「同人誌をつくる」

日 時：2020年3月21日（土）10：30-17：30 （12：00-13：00 昼休憩）

会 場：アートロフト

講 師：高浜寛（出品作家）

対 象：16歳以上 20名（要事前申し込み）

参加費：5000円程度（予定）

道 具：各自持参（手描きの場合、トーンやペン、紙などすべてご持参ください）。

内 容：高浜寛先生から、プロットやキャラクターの作り方について1時間のレクチャーを受けた後、「19世紀の通町筋」を主題として、自分の経験などを盛り込んだストーリーの4コママンガ（モノクロ）を描きます（紙面は1～3ページまで使用可）。キャラクター造形に慣れていない方は、今回特別に『ニクスの角灯』キャラクターの使用を公認！皆さんの原稿をまとめて1冊の同人誌に仕上げ、後日皆さんのお手元にお送りします（印刷・製本は美術館による監修）。表紙は高浜寛先生描き下ろし予定！

*原稿提出は後日データ入稿の予定、詳細は当日ご案内します。

【作家略歴】

高浜寛（たかはま・かん）

熊本県天草生まれ。筑波大学芸術専門学群卒。

著書に『イエローボックス』『泡日』『凧渡り - 及びその他の短編』『トゥー・エスプレッソ』『四谷区花園町』『エマは星の夢を見る』『蝶のみちゆき』『SAD GiRL』『ニクスの角灯』『愛人 ラマン』など。新作『扇島歳時記』を雑誌『コミック乱』、「トーチ web」で連載中。『イエローボックス』でアメリカ「The Comics Journal」誌「2004年ベスト・オブ・ショートストーリー」を受賞。著作の多くがフランス語訳されている他、各国の著名なバンド・デシネ作家らとともに「カルティエ」の商品ブックレットにも作品を寄せている。『ニクスの角灯』で第21回（2018年）文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞。



高浜寛「ニクスの角灯」カット絵 主人公の美世

©Kan Takahama

問い合わせ先：熊本市現代美術館

〒860-0845 熊本市中央区上通町2番3号

tel:096-278-7500 fax:096-359-7892

URL: <https://www.camk.jp> E-mail: gamadas@camk.or.jp